

# 厳しい治安情勢等に的確に対応するための基盤整備について

【警察庁】

## 提案・要望の内容

依然として厳しい治安情勢等に的確に対応するため、次の措置を講ずること。

- 1 ヘリテレ映像中継所を設置し、危機管理態勢を整備すること
- 2 自動車ナンバー自動読取装置を整備すること
- 3 駐在所の機能を強化するため、警ら用車両の配備を充実すること。
- 4 サインカーを配備し、テロ等突発重大事案における住民対策を強化すること

## 【現状と課題】

- 地勢及び重要警戒施設の状況等
  - ・ 県土が東西に長く、また、離島である隠岐諸島を有する。
  - ・ 県庁所在地である松江市に島根原子力発電所が立地。他の重要施設として、外国船籍の船舶が頻繁に入港する県西部の浜田港及び県内3か所の空港（東部・西部・隠岐地区）を有する。
- 犯罪情勢等
  - ・ 刑法犯認知件数は減少傾向にある中で、山陰自動車道の延伸等、道路網の整備等を背景として、自動車を使用し、県をまたいでヒットアンドアウェイ型犯罪も多発しており、これらの犯罪に対する的確な対応が重要となっている。
- 中山間地域の治安対策
  - ・ 県土の83%、県内人口の47%を占める中山間地域では、急激な人口減少や高齢化の進行により、地域が維持してきた防犯機能の低下が治安維持に影響を及ぼすことが懸念される。このため、中山間地域の駐在所の役割がこれまで以上に重要となっている。
- テロ等突発重大事案発生の際の住民対策
  - ・ テロ、原子力災害、大規模災害等の突発重大事案が発生した場合には、初期段階で広範な立入制限区域を設定し、状況に応じた的確な交通規制、住民広報等を行う必要がある（平成18年7月、出雲部で豪雨災害が発生（死者4人、行方不明者1人、負傷者12人））。

## 【本県の取組状況・方針】

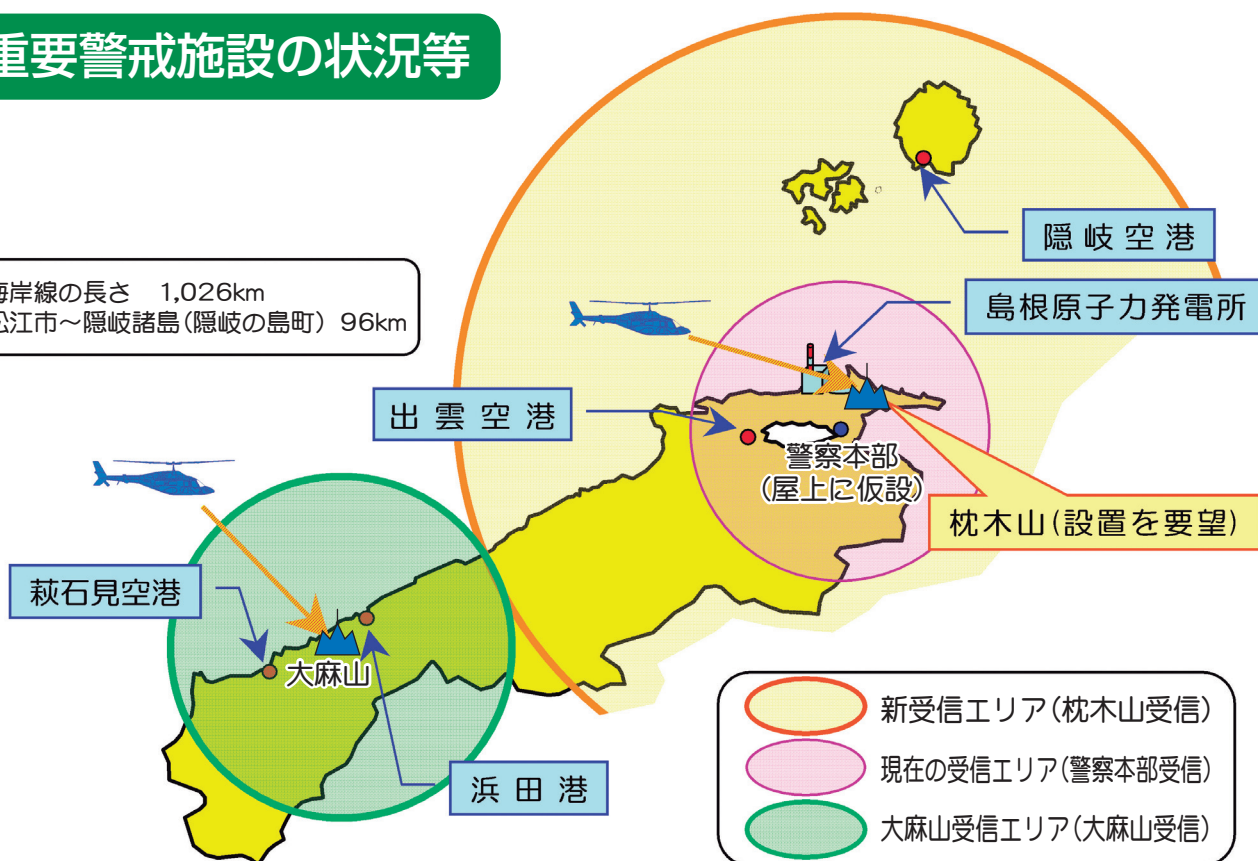
- 県内の東西2か所にヘリテレ中継所を設置しているが、県東部については警察本部庁舎に仮設しての運用である。受信可能エリアが狭く、隠岐諸島が不感地帯となっている状況を解消する必要がある。
- 主要国道、高速道路、県境を対象とした自動車ナンバー自動読取システムを設置。これを補完する形で、県においても初動警察活動支援システムを整備している。
- 中山間地域の駐在所(147か所)への警ら用車両配備率は58%で、増強配置を計画中である。
- 避難誘導交通制御板を4機配備しているが、更に機動性・視認性に優れたサインカーの配備が必要である。

## 【提案要望の効果】

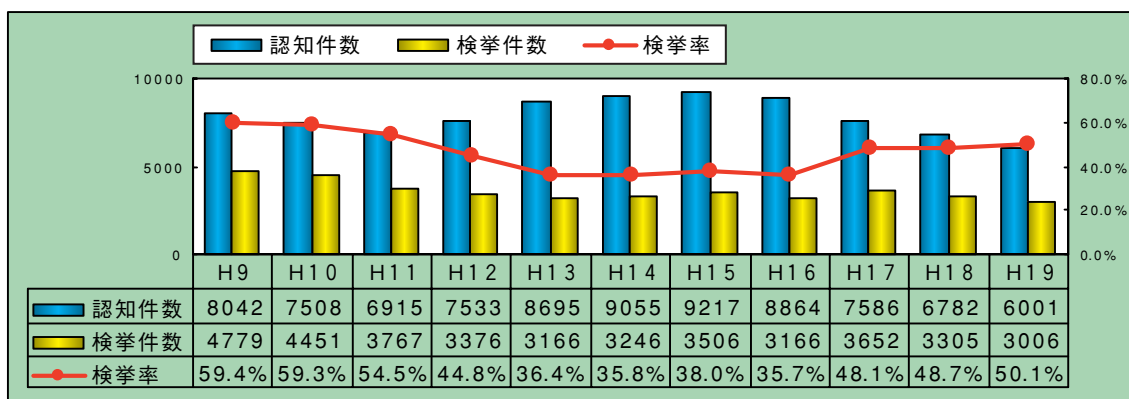
- 隠岐島付近等の映像がリアルタイムに受信できるようになり、災害や有事の際の情報収集分析能力が一層強化される。
- ヒットアンドアウェイ型を含め、自動車等を使用した犯罪の一層の検挙向上が期待できる。
- 車両の配備により、中山間地域の治安維持機能が強化される。
- 突発重大事案が発生した際に、的確な住民対策が実施できる。

## 重要警戒施設の状況等

海岸線の長さ 1,026km  
松江市～隠岐諸島(隠岐の島町) 96km



## 犯罪情勢



## 中山間地域の現状等

- ◇ 島根県の「中山間地域」の定義  
産業の振興、就労機会の確保、保健・医療・福祉サービスの確保その他社会生活における条件が不利で振興が必要な地域  
(島根県中山間地域活性化基本条例)

